

質問者 原田 博

第五次大竹市総合計画に向けて、ポイントを問う

できるだけ多くの市民の意見をいただきます

問 市では、平成23年度からのスタートに向け、第五次大竹市総合計画を策定中です。

総合計画は、夢の部分、楽しみが、多くの市民のみなさんの目に見える形になること、そして、次の世代の優しい・元気なまちづくりであり、私たち大人は、その実現に努力することが責務です。

さらに、総合計画は、総花的になることは理解はできて、財政面を視点においた取り組みは、過去の計画に比し、国・県の財政状況の疲弊からしても特に重要です。交付金や補助金制度など現行制度が今後も維持されることを前提とした事業見込み、維持管理費・ランニングコストの不透明など総合計画立案時では見えていない部分は、行政運営遂行時の大きな警鐘となります。また、将来人口の見通しは、総合計画では最上位に掲げられる中心点です。加えて、総合計画には為政者たる市長の意思表示は、構想の基本です。係る状況から、

- ① 総合計画での財政的位置づけ
- ② 将来人口の考え方
- ③ 計画における市長の役割について問います。

答 ① 本市の経営の根幹となる基本構想において、財政問題を無視することはできないと考えています。実効性のある財政健全化のための目標づくりが必要であると認識はしておりますが、基本構想におきまして、どのような手法が可能であるか、研究したいと思えます。

② これまでの5万人構想、3万5千人構想を継承するのではなく、推計結果や直近の人口推移、定住促進策による効果の予測などをもとに、将来人口を設定する必要があると考えています。

また、採用できるかどうか分かりませんが、定住人口、交流人口、活動人口、応援人口などによる人口の指標の設定について研究したいと思えます。

③ できるだけ多くの市民の皆様から幅広くまちづくりに関するご意見をいただき、意見を集約してまちづくりの方向を定め、その方向に沿って体系的に総合計画をまとめること、その体制を整えることが市長としての役割だと思っております。

質問者 山本 孝三

75歳以上の高齢者の人間ドック・脳ドック(検診)に助成措置を

国において制度設計すべきです

問 後期高齢者医療制度が、年齢区分による差別医療を生んでいます。

大竹市が実施する人間ドックなどの利用について、年齢による差別をやめるべきです。

答 後期高齢者医療制度における保健事業の実施については、全国市長会議において、国への要望議案の中の1項目に上げられています。

後期高齢者医療制度における人間ドックなどの保健事業の拡充については、全国統一的な制度として、国において制度設計すべきと考えています。

「晴海」商業開発について

商業調整は禁止されています

問 開発業者「イズミ」から、大店舗の計画が提示されました。市内の小売業者は勿論、消費者は大きな影響を受けます。将来の「まちづくり」に係る諸問題を「協議」する場を設け、共存共栄のしっかりした道筋を示すべきです。

答 大規模小売店舗立地法では、地方公共団体は、小売業を行うための店舗の立地に関して、その周辺の地域の生活環境を保持するために必要な施策を講ずる場合においては、地域的な需給状況を勘案することなく、この法律の趣旨を尊重して行うものとされ、いわゆる商業調整は禁止されています。

従って、市として商業調整を目的とした協議の場を設けることは、法律の趣旨に反することになりますので、ご理解をお願いします。

市民参加の「まちづくり」について

まずは機運を市民・議会・行政で高めたい

問 計画・立案の段階から、市民参加を保障する住民自治基本条例やまちづくり条例を制定し、市民の声が生かされる「まちづくり」をすすめるべきです。

答 時間はかかると思いますが、市民参加の仕組みを一層充実させながら、まずは、本市における「市民自治づくり」の機運を市民・議会・行政でしっかりと高め、その後、条例の制定について検討したいと思えます。

質問者 山崎 年一

バス運行は市民の目線で

幹線交通検討分科会で検討を進めています

問 大竹市コミュニティバスの運行は、大竹・小方・玖波間を結ぶもので、幹線以外の周辺地域の住民は市内を巡回するバスを求めています。今後どのように整備され利便性を図られるのか伺います。

答 幹線交通は、どの地域の方でも一定の利便性を感じられるよう、サービスマスターの多い交通システムを導入したいと思えます。幹線から離れた地域では、幹線交通とは別に、地域と幹線上の拠点をつなぐ支線交通の存在が重要になると考えます。

問 幹線バスに乗り継ぐ、フィーダー交通(乗り合いタクシー)は自治会や利用する住民の連絡組織等、クリアすべき問題が多数あります。取り組みに消極的な地域の切り捨てや見切り発車が懸念されます。また、幹線バスに乗り継ぐためにフィーダー交通を利用する地域では、幹線バスだけを利用する地域に比べ4倍から5倍ぐらい費用がかかると思われます。対応策を伺います。

答 支線交通を地域に合う仕組みとするには、地域と十分に意見を交わし、市民と行政が一緒に作り上げることが大切と考えます。地域の要望を踏まえながら、利用者も負担でき、行政も支援できる範囲での運行方法を検討したいと考えます。

問 幹線バスの運行は、小方地区への一極集中を加速させます。大竹・玖波地区の衰退、疲弊を招かない方策を伺います。

答 「幹線と支線」という考え方の最大の目的は大竹・小方・玖波の3拠点の「まち」の機能を今後も残し、高めていくことです。まず、地域から最寄りの拠点へ人を集めることで、各拠点の「にぎわい」を取り戻したいと考えています。そして、この人の動きが新たなチャンス拡大につながるものと確信しています。

また、新公共交通を活用した活性化策について、引き続き、地元商店街と検討していきたいと考えます。

問 幹線バスの運行でゆめタウンバス(運行費1千万円)が廃止されるものと思われませんが、バス運行負担金として協力を求める交渉をするべきです。

答 定期的に会合を持ち、事業に理解いただくよう努めています。

質問者 日域 究

定住促進と大願寺山開発は両立する?

良質な可住地が少ないことが、定住の地を選ばれない要因の一つ

問 小方地区は学校と大型店が近くにあり、駅さえあれば最高の住宅地です。ところが、学校が遠くに移動すれば利点のないまちになってしまふように思えます。そこで親子で予定地まで歩いて登校体験できる様な日を設けていただけませんか。多くの保護者の納得を得て事業を進めるべきだと思えますがいかがでしょうか。

答 小方小・中学校の移転計画が公表されたことで、保護者の方々がご心配になることはよくわかります。

市ではこれまでに2回、大願寺山造成地を一般開放し、市民に実際の現地状況をご案内させて頂いています。

今後も、現地を見てみたいといった市民の希望がありましたら、可能な限り要望にお応えしたいと考えています。

ルネスの借地転貸許可は背任では?

事務処理上での問題を残したと認識しています

問 借地人ではない第三者が大竹市の土地の上に建物を所有することを認めたことは、それ自身が背任行為であると思いますが、その認識はありますか。

答 転貸許可するに当たって顧問弁護士に相談した記録はあります。「跡地に通信制高校を。」との話があります。その後の状況はいかがですか。

答 平成15年に、ルネス学園が建設した体育館の転貸を市が承認したことについては、ルネス学園との公有財産無償貸付契約に基づき行ったものですが、公有財産管理規則の規定に抵触する内容であったことは、事情があつたにせよ、事務処理上での問題を残したと認識しています。

転貸を顧問弁護士と相談した記録については確認できていません。

経営譲渡先としてお話のありました学校法人については、条件等の折り合いがつかず、実現が難しい見通しですが、ルネス学園が引き続き努力されていますので、情勢を見極めながら解決に向けて検討したいと考えています。

質問者 山田 晟彰

人口減少対策「やる気は」

「定住促進アクションプラン」を着実に実行に移していきます

問 大竹市第四次総合計画では人口3万5千人と計画されています。宅地の無い地理的条件等考慮して、人口減少要因は何であるとお考えですか。また、定住対策に関するアンケート調査に対し、これ自体税金の無駄使いとの回答があり、まさしく対処が遅いと批判されたものと思いませんか。もっと早期に実施すべきだったのではありませんか。

答 近年の人口減少は、少子高齢化の進行に加え、環境への懸念などにより若者世代から「定住の地」として選ばれていないことが主な要因と考えられます。今回のアンケートは市外居住の市内立地企業従業員の本市の評価を把握し、これまでの取り組みを一層推進するためのものです。

問 住んでみたいまち大竹、解決しなければならぬ悪臭、騒音、交通事情等の課題があります。5月22日に新聞発表された環境基本計画とはどのような構想なのでしょう。

答 環境基本計画は、本市の豊かな自然環境や生活環境などを保全し、

将来の世代に良好な環境を継承するために策定するもので、中長期的な視点で、環境の保全と創造のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目指すものです。

問 新しく住宅、宅地を探している人の相談窓口として、定住促進対策室(仮称)設置の考えはありませんか。また、アンケート集約から得た定住アクションプランが、絵に描いた餅にならないための努力とはどのようなものですか。

答 地域振興課に定住促進に向けた取り組みの調整機能・情報発信の役割を持たせます。また、定住促進戦略会議を継続して設置し、次年度事業の決定や実施事業の進捗管理を行い、計画期間中に掲載事業を着実に実行に移したいと考えています。

問 過去大竹市は様々な都市宣言をしています。大竹市にとって人口減少問題は至上命令です。定住促進を宣言することにより、市民及びこれから大竹に住んでもらう人たちに大竹の良さを強くPRできます。ご意見を伺います。

答 定住促進を図るための具体的な取り組みが伴わなければ、宣言しても効果はないと思います。まずは、アクションプランに示された事業を実現させることに努力していきます。

質問者 寺岡 公章

大竹小学校建てかえの進捗状況について

積極的に情報提供します

半世紀に一度の事業、大竹小学校の建てかえが進んでいます。

学校関係者、地域住民、保護者や児童など、多くの人がその完成を楽しみにし、また、進捗について注目しています。

建てかえに際しては、事務的にスケジュールを消化するのではなく、日々の学校の様子など、有機的な情報を活かしながら進めていく姿勢が必要なのではないかと考えています。

問 グラウンドの芝生には、多くの人の気持ちが入められています。新しい学校に活かす工夫はできませんか。

答 学校建てかえが分かっている中、了承を得て芝生化を進めました。今でも「何でわざわざ芝生を張ったところに校舎を建てるのか。」というご意見はあるようですので、色々な機会に話をさせていただきます。

転用については、児童が欲しい、あるいは家で可愛がって2年後、3年後に植え替えてやりたいというところであればそれが一番であろうと思います。また、市内の公立の建物、

学校や保育所や公園などで芝を張りたいという所があれば利用していくことになろうかと思えます。

問 校舎解体とともに、ひかり児童クラブの活動場所がなくなり、新しい施設は現場の声をしっかりと活かしたものにしてもらいたいのですが、いかがでしょうか。

答 2期工事終了に合わせて、ひかり児童クラブが完成しますのでスムーズな移転ができると思っています。

子どもたちが「ただいま」と言って帰るところですから、落ち着いて、家庭的な雰囲気味わえる様なものを建てていきたいと考えています。

問 近々中学生の水泳の授業が必修になります。中学校のプールは故障したまま放置されています。今回の計画で小学校のプールを改修して共用すれば、効率的・効果的な利用につながるかと考えますがいかがでしょうか。

答 できればどちらかのプールを生かしたいと考えますが、中学校のプールを改修する方がよいのか、小学校にあるプールを改修する方がよいのか、それとも別に中間回りをプールにするのがよいのか、これは検討事項になろうかと思えます。

質問者 細川 雅子

成果重視の行政評価に移行しませんか？

事業の目的、目標とするものを見直します

本市の財政運営は、当分の間赤字基調で推移するようです。そのような中、事業の効率性をあげ、市民の満足度を高めるためには、施策や事業の目標に基づく成果指標を明確にして、事後に評価し次の計画に反映させるという、P・D・C・Aのサイクルでの行政評価の制度を整えることが肝要と思われまます。

問 行政評価の見直しの前提として、市長は本市の行政改革に対してどのような問題意識で取り組んでおられるかお尋ねします。

答 負担をしてくださる世代が非常に少なくなり、今のサービスを今の負担では賄いきれない大変厳しい状況が目の前に迫っている状態であると考えています。

- 問 現在取り組んでいる本市の評価制度についてお尋ねします。
- 本市で行っている評価
- 評価の目的
- 評価は機能しているか
- 課題と解決の方向性

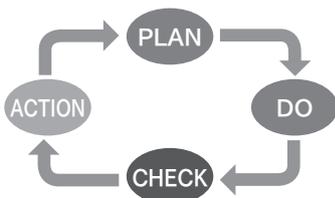
答 現在大竹市が取り組んでいる行政評価は、事務事業評価と施策評価です。

事務事業評価は事業をより魅力的なものにすること、コスト意識を導入し効率的なやり方にできないかを目的としています。施策評価は、厳しい財政状況の中、現在実施している行政サービスのあり方を見直す場合や新しく事業を選択する場合には、市民の皆さんが求めていることを把握する一手段として活用することを目的としています。

この2つの評価は別々の目的で始めたため関連がなく、また、評価の目的、方法、結果の活用方法が確立しておらず十分に機能していないのが現状です。

事業の目的、目標とするものをもう一回明確に見直し、何をもって目標を達成したかという指標を作り上げる作業が必要であると考えてます。

- 〈PDCA サイクル〉
1. Plan (計画)
 2. Do (実施・実行)
 3. Check (点検・評価)
 4. Action (処置・改善)



質問者 田中 実穂

晴海公園に避雷舎の設置を

整備を検討したいと考えています

問 晴海公園を青少年からお年寄りまでがスポーツに親しめる場所、芝生化した広場を開放し多くの人が憩える場所に整備できればと思います。また、安全対策として避雷舎の早期設置を望みますが、その取り組みはどのようなものですか。

答 スポーツレクリエーションの場として、また若い人達、子ども連れの家族、高齢者にもゆったりと時間を過ごしてもらええる芝生広場、突然の雨や雷をしのぐ施設などの整備についても検討したいと考えています。

教育環境の充実について

計画的に施設整備を検討したい

問 国のスクールニューディール構想にのっとり、小・中学校のグラウンドの芝生化と、ICT化（情報通信技術）最新機器の電子黒板の導入を希望します。

答 今年度着工する大竹小学校の改築でも校庭の芝生化を予定しています。電子黒板は現在、全中学校に各1

台、玖波・阿多田・大竹小学校に各1台設置しています。

安心安全対策について

万全の体制で事務を進めよう所存です

問 ハローワーク大竹出張所付近の開通は、永年の懸案となっています。きちんと対処してはどうですか。大和橋から直進した大型車が、何度もカーブミラーを破損しています。

答 引き続き地権者との交渉を継続し、円満解決に向けて努力します。現在は、行政代執行も視野に入れ、県との協議も進めています。

がん検診の受診普及について

受診促進及び早期発見に努めます

問 子宮頸がん乳がん検診に無料クーポン券が発行される事になりました。受診率のアップに繋がると思われますが、早期実施に向け、本市の具体的な取り組みについて伺います。

答 女性が、がんを含めた女性特有の病気を自分のこととして捉えることができるよう、今後、大竹市医師会と連携し、講演会を開催しようと考えています。また受診しやすい体制づくりを検討します。

質問者 児 玉 朋 也

定住促進対策の「見える化」を早急に！

大竹市を挙げて取り組みます

〔問〕 定住促進対策のためのまちづくりは、大竹市においては沿岸部を重点的に検討されております。この沿岸部重視型の従来の視野を見直し、大竹市全域でまちづくりを展開すべきと考えます。就労と住居を地域特性別に「ゾーン化」を図れば、現状で多くの財源を要することなく、それぞれが目的別に共生し、安全で安心した住環境が実現できると思われ

ます。
すでに、多くの市町は定住促進対策として、マイホーム取得者への補助金、奨励金、固定資産税減免等を行っており、広報活動等も盛んです。社会減に危機感を持ち、早めの対応をしていくことによって、今後の大竹市の人口が大きく左右され

ます。
隣接した市町に対抗ができ、即効性のある有効な定住促進対策をお考えでしょうか。

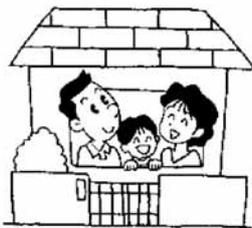
財源確保後、諸問題解決後では他の市町に人口が流出してしまいません。早急に「見える化」対策をお願いします。

〔答〕 人口減少はさまざまな要因が複合的に影響して起こるものであり、定住促進についても、特定な施策だけでは定住の決定打となり得ないと考えています。

まちの総合力を充実させることで、まちの魅力を高め、今よりもっと「住みよいまち」にしていくことが、「定住の地」として選ばれる道ではないかと考えています。

定住促進の取り組みについては、すでにスタートを切ったと理解しています。定住促進アクションプランでは、この5年間で、本市が定住促進施策として取り組むべき26の事業を提案しています。事業効果の高いものから順次取り組んでいく必要がありますが、財源を考えなければなりません。

来年度から実施する事業については、皆様のご意見をいただき、「定住促進戦略会議」においてこれから決定をしていきますが、本市の財政状況も勘案しながら、提案事業の中から、より実効性のある効果的な事業を順に選んでいきたいと考えています。



平成21年
第2回市議会(臨時会)
会期5月1日

会期中に承認案2件(原案承認)、人事案1件(原案同意)、その他1件の議案(原案可決)の審議をしました。

議案の概要は次のとおりです。

○専決処分承認を求めることについて(大竹市税条例等の一部を改正する条例)

○専決処分の承認を求めることについて(大竹市都市計画税条例の一部を改正する条例)

○固定資産評価員の選任の同意について

総務文教委員会に付託された議案

○工事請負契約の締結について(防災行政無線施設(デジタル同報系)整備工事)

Q 当初予算と比べると、約半額で落札しているが、入札にいたる経過について尋ねる。また、低価格で落札されたが、契約後の追加工事等で工費は増加する危険はないか。

A 特殊な製品であり、メーカーの見積り以外で価格の確認は困難である。防衛省の補助事業であり、チェックを受け適正なもの判断されている。入札参加7社中6社が1億7千万から8千万の金額で入札している。また、落札した価格でできると判断しているが、現場で不慮の事態があった場合は議会に諮ってきたい。

Q 予算残額で何か事業を考えているのか。

A 工事を実施した時に、変更の必要が生じる可能性もあるので当面残しておいて、しかるべき時期に補正予算で減額整理していきたい。

Q 大手の企業が安い価格で落札した中、地元業者を使うことへのお願いについて伺う。

A 工事については地元業者を積極的に活用してもらいたいとの要望を落札業者に強く申し入れをした。

Q 保守管理をセットにした契約は出来ないか。

A 今回の防災無線は保守等の額については多くないが、今後はメンテナンスまで含めた入札条件も考える必要があると考えている。

本議案について討論はなく、採決の結果原案のとおり可決



本会議で質疑・討論はなく
原案のとおり可決

平成21年
第3回市議会(臨時会)
会期5月25日

会期中に補正予算案1件(原案可決)、条例案2件(原案可決)、その他3件の審議をしました。
主な議案の概要は次のとおりです。

総務文教委員会に付託された議案

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について

今年5月1日に示されました人事院勧告を実施するもので、6月期に支給する期末・勤勉手当をそれぞれ0.15カ月分、0.05カ月分削減する

ものです。また、市長等の特別職及び市議会議員の期末手当も0.2カ月分削減するものです。

○大竹市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

今年4月1日からの国家公務員の勤務時間の見直しに準じて、市職員の1日の勤務時間を「8時間」から「7時間45分」とするものです。

2議案を一括議題としました。

Q 期末・勤勉手当0.2カ月分の試算について伺う。

A 一般職、特別職合わせて2千300万円、一人当たり7万1千円の減額となる。

Q 既に2%〜3%の賃金カットを実施している。職員のモチベーションをあげる方策を伺う。

A 財政の経費の中で人件費が多額の割合を占めている。財政を改革するために削減せざるを得ない。職員も一生懸命やっていることを議員の皆さんも伝えていただきたい。

Q 勤務時間短縮について、実施するための検討事項について尋ねる。

A 市民サービスを低下させないよ

うに、閉庁時間を変えず、どのような勤務体系にするかなど、詰めていく予定である。

委員会での討論

反対

「この問題は組織の根幹を支える大事な事です。市の大事な仕事をしている人のモチベーションが下がったら市民の損害です。根本的に処遇を考えて欲しい。」

「市長は、職員の皆さんはよく頑張っている」と評価されています。期末・勤勉手当の削減に反対します。」

賛成

「人事院の勧告を遵守するという立場を示していることと、当事者間での話し合いが済んでいるという2点において賛成する。」

「人事院勧告であり、職員の皆さんには断腸の思いでお願いする。市長には、しっかりと職員に対するケアをお願いしたい。」

採決の結果、2議案いずれも原案のとおり可決



【反対討論】

「職員にやる気を起こさせる環境を補完すべき。大竹市独自の判断により、このたびの人事院勧告による臨時の給与下げについては避けるべきではないか。」

「時間短縮については、他市町も足並みがそろっていない。いま決める必要はない。また、公務員の給与は、民間にそこまで連動する必要はない。根本的に検討すべき。」

【賛成討論】

「今回の0.2カ月分の削減は、人事院勧告である。給与カットなど二重三重の負担となっており、心苦しいが本案に賛成。」

採決の結果 原案のとおり可決



生活環境委員会に付託された議案

○平成21年度大竹市土地造成特別会計補正予算(第1号)

4億7千114万2千円増額

Q 20年度予定の業務委託料の執行残が多いが、未執行となった事業は何か。

A 業務委託料の内容は、現在契約している開発行為許可申請の申身一式である。

Q 大願寺山に給食センターを設置する場合、開発行為そのものの申請変更をしなければならないのか。

A 現在は、住居地域で計画しており、住居地域の基準を緩和し、その中に給食センターを設置することが可能か国に確認している。

本議案について討論はなく、採決の結果原案のとおり可決



本会議で質疑・討論はなく
原案のとおり可決

平成21年
第4回市議会(定例会)

会期6月4日～18日

総務文教委員会に付託された議案

会期中に補正予算案4件(原案可決)、陳情1件(採択)、意見書案1件(原案可決)、決議案1件(原案可決)、その他3件の議案の審議をしました。
主な議案の概要は次のとおりです。

○平成21年度大竹市一般会計補正予算(第1号)
5億9千626万4千円増額

- 補正予算(第1号)の主な内容
- 阿多田島かき殻一時堆積場整備事業 8千280万円
- 北栄南栄1号線舗装工事 1千656万円
- 本町元町1号線舗装工事 300万円
- 本町元町1号線歩道改良工事 2千112万円
- 飛石4号線路盤表装改良工事 1千万円
- 晴海15号線整備工事 9千400万円
- 唐船浜団地線舗装側溝改良工事 4千565万円

白石7号線舗装水路蓋掛け工事 471万円
公園遊具改修工事 3千245万円

保育所耐震診断業務委託料 610万円

小学校耐震診断業務委託料 900万円

中学校耐震診断業務委託料 730万円

総合市民会館耐震診断業務委託料 1千400万円

総合市民会館等防水工事 1千650万円

中浜ポンプ場雨水ポンプ更新工事 1億700万円

林道・河川整備工事 1千万円 ほか

Q 阿多田島のかき殻一時堆積場整備工事に関して、堆積場の施設構造、工事実施主体、管理について問う。

A 施設は一時的にかき殻を水没させ保管することにより悪臭やハエ等の発生を防ぐもので、昭和51年ごろ設置された。経年劣化により破損しているのが現状、材質などを検討し設計する。現施設は地元で建設しているが、補助金及び交付金で地元負担が小額ですむため大竹市を実施主体にしている。管理は管理条例を作り指定管理としたい。

Q 晴海15号線道路改築工事について、並行する公園の将来構想及び海岸線を利用することはできないか。

A スポーツ、多目的ゾーン、ファミリーゾーンなど幅広い層が利用できる公園としたいと考えている。道路位置も県の港湾課と海に親しめる配置等検討していきたいが、防波堤などの護岸施設の変更の制限など難しい面もある。海へ向けてのアクセスなど含めて設計で検討したい。

Q 市道改修について今回の路線を抽出した理由を問う。

A 27路線の道路補修箇所のリストを作成し、利用度、損傷度、緊急度、不便性、地元要望の5項目において点数をつけ決定している。

Q 緊急雇用対策に対する経費で、河川の整備など本来県が行う事業であり、県に対し強く要望すべきではないか。

A 以前は県で管理していたが、平成13年以降通達により、砂防指定地内普通河川の浚渫、清掃、除草管理は地元自治体とされた。しかし、市も対応しきれないのが現状であり、今後も県に対して違う視点で何ができるかなど要望していきたい。

○平成21年度大竹市一般会計補正予算(第2号)

1億5千万円増額
平成20年度に予定納付された法人市民税について、法人の決算に伴い還付金が生じたもの。

Q 今回以外に、法人市民税の還付が発生するか問う。また景気が低迷しているが来年の見通しは。

A 昨年の予定納税等の法人数、申告法人税割額等を比較したところ今回のように大口で納められている企業がないため、前年並みと思われる。来年については、歳出還付金の大幅な増加は考えられないが、歳入については大手企業を中心に厳しいと思われる。

全ての議案について討論はなく、採決の結果2議案は原案のとおり可決



本会議で質疑・討論はなく
原案のとおり可決

生活環境委員会に付託された議案

○平成21年度大竹市工業用水道事業会計補正予算(第1号)
269万4千円増額

○平成21年度大竹市公共下水道事業会計補正予算(第1号)
200万円増額

Q 元町3、4丁目地区の污水管への不明水流入調査に至った経緯について尋ねる。

A 元町地区は分流区域であり污水管に雨水管の接続は出来ないが、以前の調査では雨天時には流入量が増えている。原因としては樋を污水管に誤接続した可能性があり、今回その調査をしようとするものである。

○市道路線(晴海臨海公園内)の認定について

Q 市道路線と公園のかかりについて尋ねる。

A 起終点と経過地の地番の認定である。認定され補正予算が通れば、詳細な実施設計をし、晴海臨海公園の全体的な活用計画を立てる中で最終的にルートを決定するものである。

Q 道路敷を含む公園の位置づけと道路の形状について尋ねる。

A 公園の土地は県有地であり、港湾緑地の上に目的外使用許可を受けて、平成21年4月1日に都市公園の告示をし、現在運動公園として使っている。その中に市道を付けることになれば、土地利用計画の変更が必要になってくる。今後道路の実施設計をし、県と協議することになる。

現在は将来的な土地利用、形体等協議しているが、市が描く配置、道路計画等ができた段階で協議書を提出するが、許可されないということはないと考えている。

また、道路の形状については、公園を分断するという格好になるので、県に了解を得て、都市計画とも調整して最終的な配置をしていく。概略では、延長約680メートル、幅員は南北側は中小企業団地側と同様に片歩道3メートルを含め全幅10メートル、また、東西側は小方港前道路と同様に両側歩道各3メートルを含め全幅13メートルである。

Q 小方港側の市道と市道認定に上がっている晴海15号線の幅員が違うが接続について考え方を問う。

また、新しく道路が供用開始されると市役所の横の道路は交通量が増えると思うが、長い間補修されておらず、通行する車の騒音がすると聞

いている。この対策について尋ねる。

A 小方港の横の道路は幅員25メートルの4車線である。これに幅員13メートル2車線を接続すると交差点の整備の問題や交通的に混乱を起すことが考えられる。このことから25メートルの4車線を2車線に狭めることを考えている。取り壊す2車線については、周囲が宅地や港への出入り口で道路以外に使えない状況であるため歩道や植栽を考えている。

市役所の横の道路については路面の状態も悪く、国道までの間を全面的に路面補修する必要があると考えている。

全ての議案について討論はなく、採決の結果3議案は原案のとおり可決



本会議で質疑・討論はなく
原案のとおり可決

第3回市議会（臨時会）、第4回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案など	審議結果	西川	乃美	児玉	北林	山田	山崎	細川	日域	上野	寺岡	原田	二階堂	広岡	田中	岡部	山本	
		健三	晴一	朋也	隆	晟彰	年一	雅子	究	克己	公章	博	博	巧	実穂	健三	孝三	
第3回市議会（臨時会）																		
議案第34号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決	—	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	大竹市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回市議会（定例会）																		
議案第37号	市道路線の認定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	平成21年度大竹市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—：議長 ○：賛成 ●：賛成でない



開発が進む玖波駅西側

請願・陳情

○玖波駅裏開発計画に関する陳情書について

大竹市玖波2丁目12-2

大野都康氏

—採択—

「玖波駅舎のバリアフリー化と西口に自動改札口の設置及び西口から大竹湯来線へ接続する幅員6メートルの道路を新設してほしい」という内容です。

意見書

○子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書

平成21年6月5日 提出

提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

決議

○朝鮮民主主義人民共和国の核実験に抗議する決議

平成21年6月4日 可決

ご利用ください
「声の市議会だより」
「点字の市議会だより」

広く市民の皆さんにご利用いただくため、音訳ボランティアと点字ボランティアの方々のご協力によりまして、市議会だよりの内容を録音した「声の市議会だより（テープ）」を貸し出しています。また、「点字の市議会だより」は差しあげます。

ご希望の方は、市社会福祉協議会（TEL52-2211）までご連絡ください。